



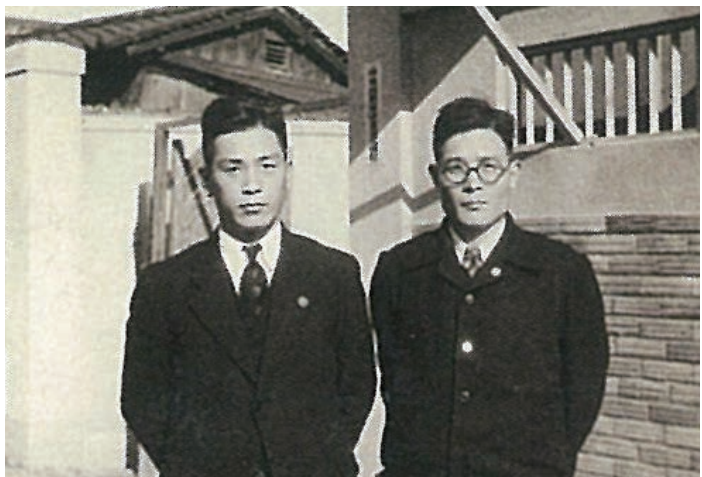
CENTRAL 中央自動車工業株式会社

1 中央自動車工業株式会社／会社概要（連結）

設 立	1946年5月
資 本 金	10億100万円
売 上 高	275.7億円(2021年3月期)
経 常 利 益	60.0億円(2021年3月期)
従 業 員 数	292名(2021年3月期)
株 式	東証2部上場
関 連 会 社	<ul style="list-style-type: none">●セントラル自動車工業株式会社●株式会社ABT●CAPCO PTE LTD(シンガポール)●CAPCO USA, INC.(米国)●株式会社石川トヨペットカローラ●エイスインターナショナルトレード株式会社

2 中央自動車工業株式会社の歴史①

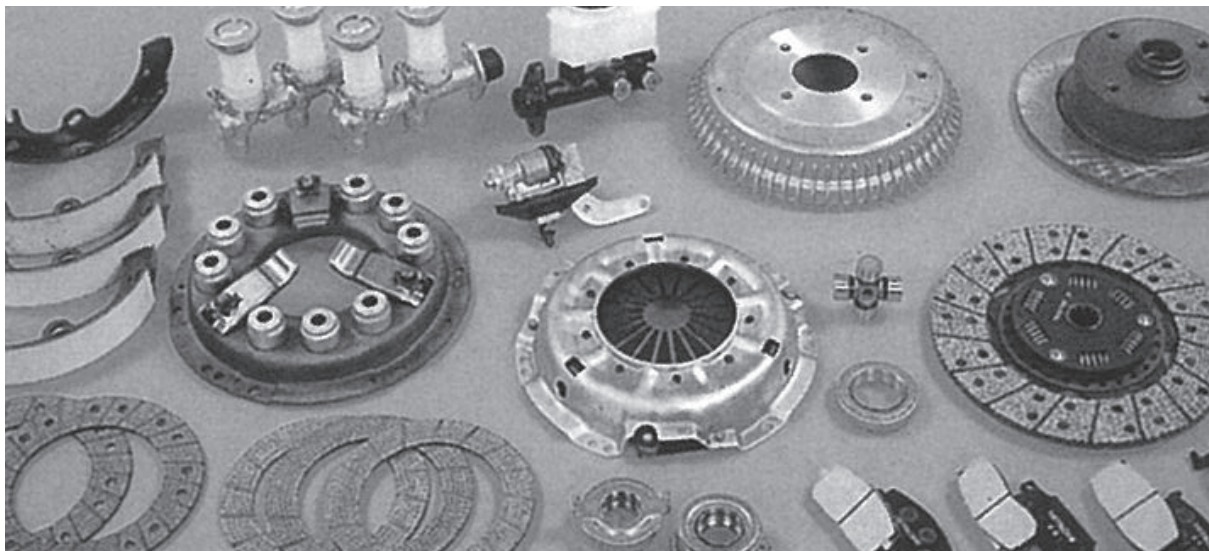
■自動車部品・卸として昭和21年創業



▲昭和21年 創業時の社屋と創業者(左)



▲商品展示会 / 昭和23年



▲自動車用部品



▲昭和33年 当時の本社

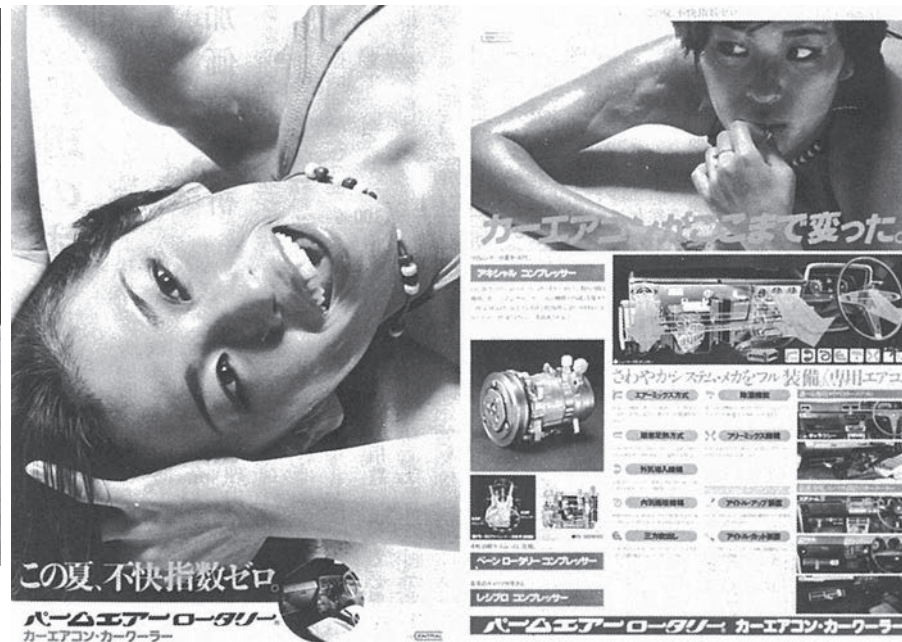
2 中央自動車工業株式会社の歴史②

■高度経済成長の波に乗り、カークーラー製造・販売で拡大

▼昭和41年JCC発足



▼カークーラー イメージポスター



昭和52年(1977)11月16日(金曜日)第12388号

プレミアム17億円

21日か増資分を時価発行

部用品流通で初

中央自工大証三部へ上場

▲昭和52年大証2部上場

▶第一回用品市昭和54年



2 中央自動車工業株式会社の歴史③

■カークーラー撤退後、カー用品卸、移動体通信事業に進出



2 中央自動車工業株式会社の歴史④

■現在／国内はケミカル製造メーカー、海外は自動車部品専門商社

▼国内／ボディコーティング



▼国内／オイル添加剤



▼海外／自動車用部品



▼海外／PB商品



2 中央自動車工業株式会社の歴史④／現在のビジネス

国内ビジネス

自動車部品製造卸 ⇒ カークーラー製造 ⇒ カー用品卸

現在

- 自動車および、その他向けケミカル商材製造
- アルコール検知器製造

メーカー

海外ビジネス

自動車部品卸（輸出）

現在

- 自動車部品卸（輸出）
- 自社開発ケミカル商材販売（輸出）

商社

3 国内事業所

全国14拠点を有効活用し、出来る限りお客様の現場に近づき、お役に立てるよう努めています。



●福岡支社



●金沢営業所



●札幌支社



●北関東支社



●静岡営業所



4 国内の事業内容 / ①

ボディコーティングやオイル添加剤等のオリジナル開発商材を 自動車販売店に販売

- ボディコーティングの販売実績は
30年以上。新しいビジネスモデル
として市場を牽引してきました。
- 商品だけでなく、サービスや
システムも開発して提供。
お客様への感謝の念を忘れず、
徹底したサービスの提供に努めて
います。



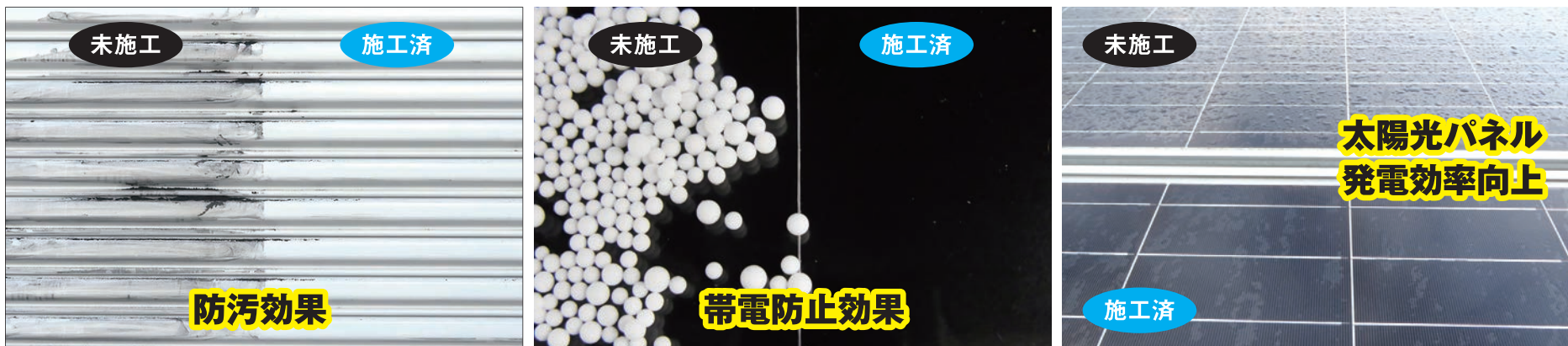
4 国内の事業内容 / ②

ハンディ型アルコール検知器を法人対象に販売

●30,000以上の企業様、官公庁、協会にご採用頂いています。



産学協同開発商材を世界中の法人対象に販売



5 海外事業所

現地法人や海外事業所等を拠点として、各国の
現地・現場に密着した営業活動を展開しています。



●現地法人 下バイ

協力会社 韓国 CTR

現地法人 米国 デトロイト



●現地法人 デトロイト

本社 日本

現地法人 中国 広州

海外事業所 台湾 台北

現地法人
UAE ドバイ

現地法人 フィリピン マニラ



●海外事業所 台北

現地法人 ベトナム ホーチミン

現地法人 マレーシア クアラルンプール

海外事業所 ミャンマー ヤンゴン

現地法人 シンガポール

海外事業所 インドネシア ジャカルタ

●現地法人 クアラルンプール



6 海外の事業内容

60数カ国をネットワークして、自動車用部品を海外の部品輸入商、代理店等に販売

- 高品質の日本製及び外国製自動車部品の販売、及び三国間貿易。
- 当社オリジナルPB部品、他社OEM用品等の販売。
- ボディコーティング剤等の自社開発商材のビジネスモデルの輸出（中国・台湾・ベトナム）。



7 海外での投資の一例 / ベトナム新工場への出資

■ CENTRAL Corporation (13%出資) のベトナム新工場 (CTR VINA) への投資



◀ 開所式



▼ 調印式



8 関連会社① / 連結子会社

▼セントラル自動車工業株式会社 / 76.3%



▼株式会社ABT (自動車処分事業) / 100%



CAPCO PTE LTD (シンガポール) / 100%▶



CAPCO USA, INC. (米国) / 100%▼



8 関連会社② / 持分法適用会社

▼株式会社石川トヨペットカローラ / 42.7%



▼エイスインターナショナルトレード株式会社 / 39.2%



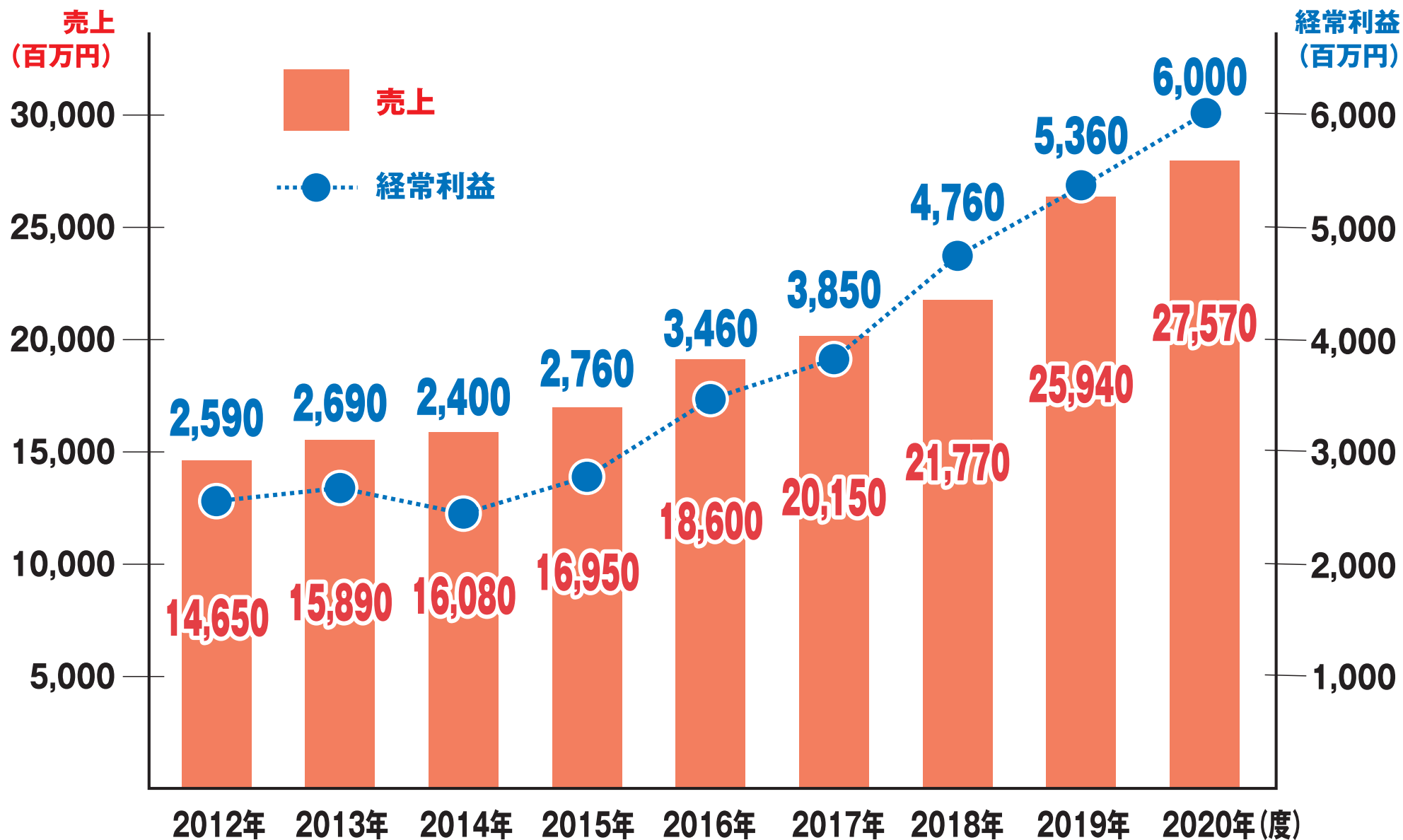
《業績推移》

9 業績の推移(連結)

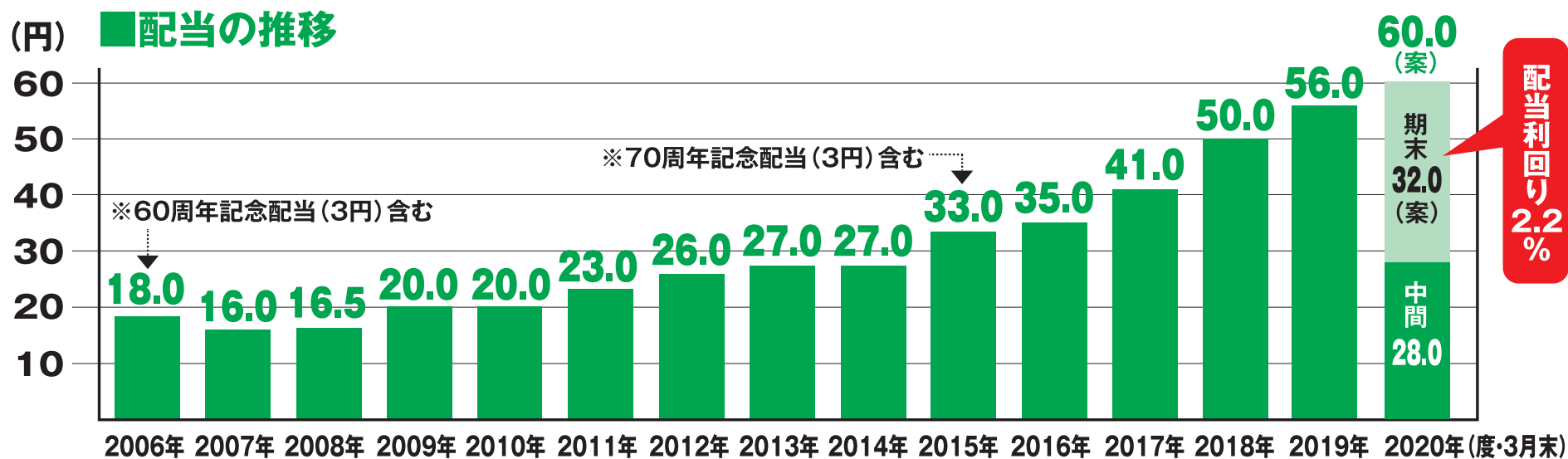
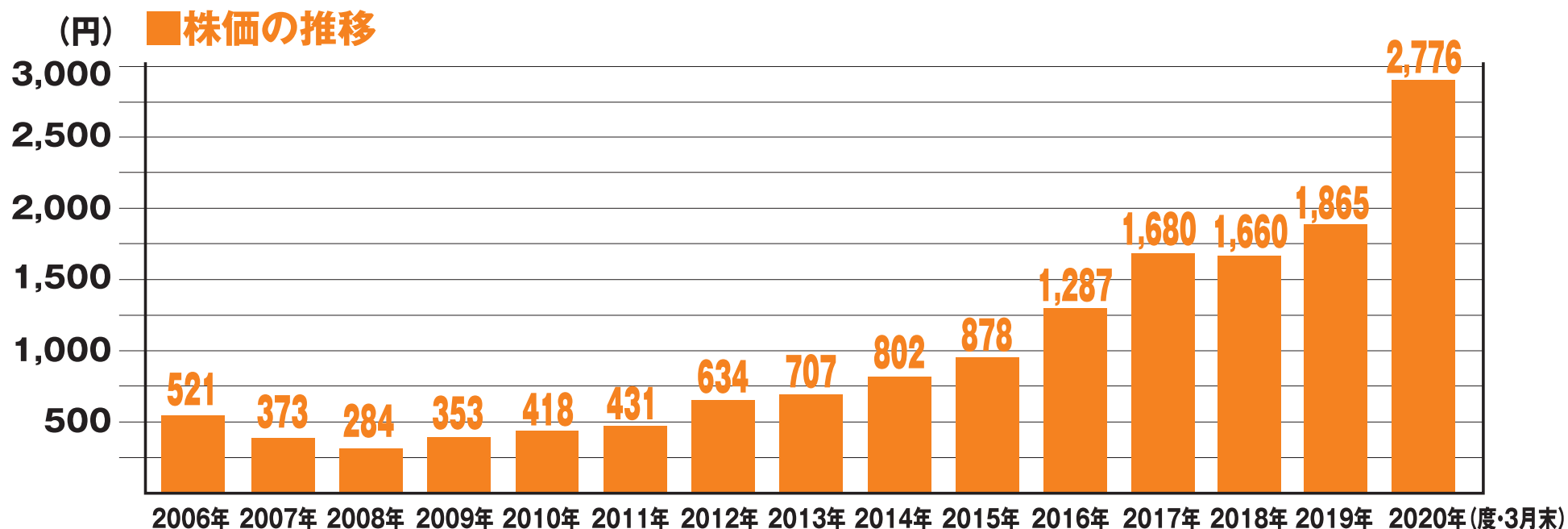
年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
売上高	16,952百万円	18,605百万円	20,154百万円	21,770百万円	25,943百万円	27,571百万円
営業利益	2,465百万円	3,077百万円	3,423百万円	4,339百万円	5,022百万円	5,408百万円
経常利益	2,757百万円	3,461百万円	3,847百万円	4,758百万円	5,358百万円	6,004百万円
当期純利益	1,869百万円	2,395百万円	2,727百万円	3,392百万円	3,875百万円	3,864百万円
配当性向 (単体)	35.7%	29.8%	30.5%	29.8%	26.2% ^{※1}	29.8% ^{※2}
ROE	10.4%	12.2%	12.6%	14.3%	14.6%	12.5%
自己資本比率	81.1%	81.3%	82.3%	82.8%	81.4%	85.1%

※1) 2019年度の配当性向は、南港倉庫売却特別利益 約10億円を除くと34.6% ※2) 2020年度の配当性向は、配当案をもとに算定

10 2012年度からの売上と経常利益の推移(連結)



11 株価と配当の推移



12 2020年度の業績(連結)

●全社の業績

単位:百万円(要約)

	2020年度予算	2020年度実績	予算達成率(%)	2019年度実績	対前年増減	対前年比(%)
売上高	26,800	27,570	103	25,940	1,630	106
荒利益	11,230	11,670	104	10,760	910	108
販売費及び一般管理費	6,330	6,260	99	5,740	520	109
営業利益	4,900	5,400(19.6%)	110	5,020(19.4%)	380	108
経常利益	5,500	6,000(21.8%)	109	5,360(20.7%)	640	112
親会社株主に帰属する当期純利益	3,500	3,860(14.0%)	110	3,870(14.9%)	△10	99

※()内は売上比率

●事業の種類別セグメント／販売実績

		2020年度(構成比%)	2019年度(構成比%)	対前年増減	対前年比(%)
自動車部品・用品等販売事業		22,540(82)	23,890(92)	△1,350	94
うち	国内販売	15,480(56)	14,850(57)	630	104
	海外販売	7,060(26)	9,040(35)	△1,980	78
自動車処分事業		5,030(18)	2,050(8)	2,980	245
計		27,570(100)	25,940(100)	1,630	106

※自動車処分事業は、2019年12月に(株)ABTを連結子会社にすることにより新たに発生したセグメントであり、2019年度は3ヶ月間の業績値となっております。

13 比較連結損益計算書

単位:百万円(要約)

	2020年3月期	2021年3月期	差額	対前年比 (%)
売上高	25,940	27,570	1,630	106
売上原価	15,180	15,900	720	105
売上総利益	10,760	11,670	910	108
販売費及び一般管理費	5,740	6,260	520	109
営業利益	5,020	5,400	380	108
営業外収益	450	650	200	144
営業外費用	110	50	△60	45
経常利益	5,360	6,000	640	112
特別利益	1,060	—	△1,060	—
特別損失	780	120	△660	15
税金等調整前当期純利益	5,640	5,880	240	104
法人税、住民税及び事業税等	1,730	2,020	290	117
非支配株主に帰属する当期純利益	30	0	△30	—
親会社株主に帰属する当期純利益	3,870	3,860	△10	99

14 連結 販売費及び一般管理費

単位:百万円(要約)

	2020年3月期	2021年3月期	差 額	対前年比 (%)
荷造運搬費	270	300	30	110
給料手当及び賞与	1,780	1,980	200	111
賞与引当金繰入額	330	380	50	116
退職給付費用	100	110	10	110
減価償却費	310	600	290	194
のれん償却額	100	380	280	400
地代家賃	360	440	80	122
研究開発費	340	310	△ 30	90
その他	2,150	1,760	△ 390	82
計	5,740	6,260	520	109

15 比較連結貸借対照表

単位:百万円(要約)

科目	2020年度3月期		2021年度3月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	14,080	40.8	16,040	40.7	1,960
現金及び預金	9,620		11,260		1,640
受取手形及び売掛金	3,230		3,340		110
有価証券	—		—		0
たな卸資産	910		1,110		200
その他	320		330		10
固定資産	20,430	59.2	23,350	59.3	2,920
(有形固定資産)	3,130	9.1	3,860	9.8	730
建物及び構築物	890		1,020		130
土地	2,060		2,600		540
その他	180		240		60
(無形固定資産)	5,500	15.9	4,620	11.7	△ 880
のれん	4,860		4,480		△ 380
商標権	100		60		△ 40
ソフトウェア	90		40		△ 50
その他	450		40		△ 410
(投資その他の資産)	11,800	34.2	14,870	37.8	3,070
投資有価証券	9,690		12,900		3,210
長期貸付金	740		660		△ 80
繰延税金資産	610		560		△ 50
その他	760		750		△ 10
資産合計	34,510	100.0	39,390	100.0	4,880

科目	2020年度3月期		2021年度3月期		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動負債	5,170	15.0	4,620	11.7	△ 550
支払手形及び買掛金	2,150		1,890		△ 260
未払法人税等	1,440		1,120		△ 320
賞与引当金	370		400		30
その他	1,210		1,210		0
固定負債	1,220	3.5	1,230	3.1	10
繰延税金負債	10		10		0
退職給付に係る負債	1,090		1,120		30
長期預り保証金	80		80		0
その他	40		20		△ 20
負債合計	6,390	18.5	5,850	14.9	△ 540
株主資本	27,740	80.4	32,540	82.6	4,800
資本金	1,000	2.9	1,000	2.5	0
資本剰余金	4,690	13.6	4,730	12.0	40
利益剰余金	22,670	65.7	27,420	69.6	4,750
自己株式	△ 620	△ 1.8	△ 610	△ 1.5	10
その他の包括利益累計額	350	1.0	970	2.4	620
非支配株主持分	30	0.0	30	0.0	0
純資産合計	28,120	81.5	33,540	85.1	5,420
負債・純資産合計	34,510	100.0	39,390	100.0	4,880

16 2020年度／キャッシュフロー計算書の概要

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

	税金等調整前中間純利益①	5,880
非資金費用等	減価償却費	670
	<small>うち ABT 株式購入に伴う「無形固定資産」の償却費 425</small>	
	のれん償却額	380
	<small>ABT 購入に伴う償却額(12ヶ月分)</small>	
	貸倒損失	120
	<small>キャブコジャパン債権放棄</small>	
	退職給付に係る負債(退職給付引当金)の増加額	30
	持分法による投資損益(△は利益)	△440
	<small>持分法利益(石川トヨペットカローラ及びエイスインターナショナルトレード)</small>	
	非資金費用等による資金調達②	760
営業活動による資金	受取利息及び受取配当金	△100
	売上債権の増加額	△100
	たな卸資産の増加額	△200
	仕入債務の減少額	△250
	未払金の減少額	△180
	未払費用の増加額	60
	その他	△30
	営業活動による資金調達③	△800
	小計(①+②+③)	5,840
その他	利息及び配当金の受取額	140
	法人税等の支払額	△2,370
	その他による資金調達④	△2,230
	(A) 営業活動によるキャッシュ・フロー(①+②+③+④)	3,610

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

単位:百万円(要約)

投資活動	投資有価証券の取得による支出	△220
	投資不動産の賃貸による収入	50
	保険積立金の解約による収入	10
	有形固定資産の取得による支出	△890
	<small>福岡新社屋、広島土地取得等</small>	
	無形固定資産の取得による支出	△30
	その他	△10
	(B) 投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,090

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動	配当金の支払額	△1,030
	その他	150
	(C) 財務活動によるキャッシュ・フロー	△880

(D) 現金及び現金同等物に係る換算差額 △0

現金及び預金の増減額(△は、減少額)(A+B+C+D)	1,640
現金及び預金の期首残高	(注) 9,620
現金及び預金の期末残高	(注) 11,260

(注) 現金及び預金の期首・期末残高には、3ヶ月超の定期預金800百万円を含む。

17 1人当たりの計数

	2020年度	当社1人当たり 人員292名(パート含)	東証1、2部合計 1人当たり平均値
売上高	27,570百万円	94,420千円	56,400千円
販管費	6,260百万円	21,450千円	10,700千円
営業利益	5,400百万円	18,520千円	3,300千円
経常利益	6,000百万円	20,560千円	3,500千円

18 国内営業の方針

① 感染対策を徹底しながら地域密着営業を強化

「新規顧客開拓」「新規ビジネスモデル開拓」「新商品の拡販」3つの新規を強力に押し進める。

② メーカーOEM商品のマーケット確立と拡販

③ 異業種を含めた衛生関連商品の開発と提案強化

④ 国内拠点的拡充(新築)による営業力の強化



19 海外営業の方針

① 感染対策を徹底しながら地域密着営業を強化

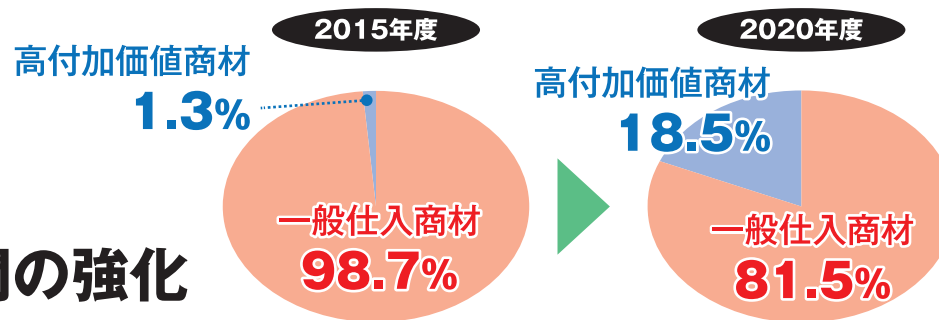
現地社員を積極活用して、得意先支援を強化した重点部品の拡販。

② 自社開発コーティング剤の海外展開の強化

③ 協力部品メーカーのベトナム工場製品の拡販

④ PB商材やメーカーブランドOEMの拡充と販売強化

■ 販売金額の構成比



《投資方針》

20 投資するもの① / ビジネス拡充 I

■商品開発



■販促費



■現場支援 (事業所の新築・移転等)

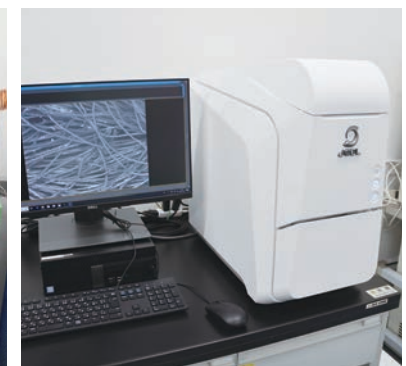
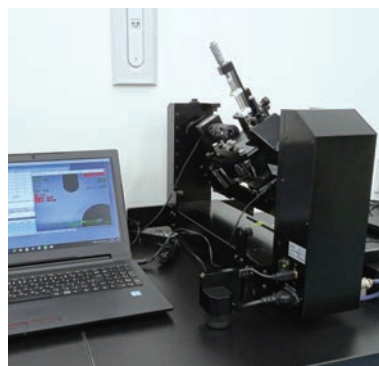
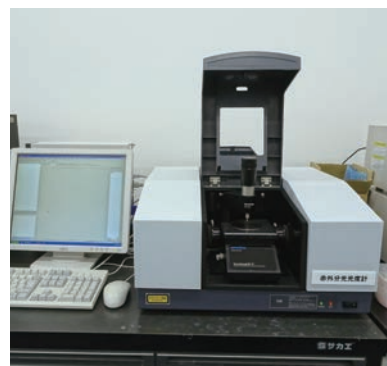
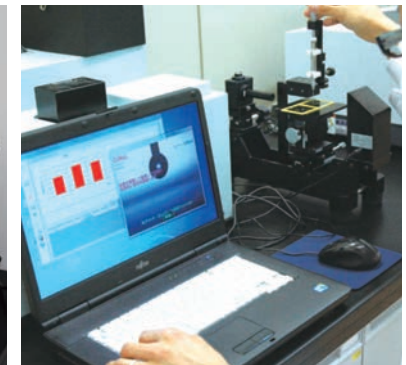


■M&A・Newビジネス



20 投資するもの①／ビジネス拡充Ⅱ

2017年6月開設、2019年9月増設
「中之島R&Dセンター」を
活用した商品開発の強化



20 投資するもの② / 人材育成

研修名	区分	内容
新入社員研修	新入社員	入社時の導入研修
カーディーラー研修	新入社員	カーディーラーに1ヶ月半出向し、営業の勉強
新入社員指導員研修	指導員	新入社員の指導員の研修
一般社員フォロー研修	階層別	コミュニケーション力の向上
執行役員スキルアップ研修	階層別	財務分析・経営効率
課長・MGスキルアップ研修	階層別	財務分析・経営効率
新入社員フォロー研修	新入社員	入社半年の振り返り
新入社員指導員フォロー研修	指導員	指導員半年の振り返り
新任役付者研修	階層別	各階層に求められる役割
次長スキルアップ研修	階層別	財務分析・経営効率
部長スキルアップ研修	階層別	財務分析・経営効率
係長スキルアップ研修	階層別	財務分析・経営効率
営業ロールプレイング大会 サービス技術大会	営業部全社員	競技大会として、営業力・サービス力を披露・ 確認・表彰

■強化する部門

- 営業開発部門 = 商品開発のスピードアップ、販売体制強化。
- 販促部門 = 多様化する顧客ニーズに対応する為の体制強化。
- 海外部門 = 営業人材の核となる人員の強化(中国・欧露中東)。
- 総務部門 = 管理部門の核となる人材体制強化(総務・経理・法務監査)。関連会社(株)ABTへの出向派遣によるノウハウ吸収。

21 社会貢献

交通事故被害者への援助

- (財)交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。
- またソシアックの売上収益の一部寄付を継続中。



感染症予防対策への援助

- 事業所を構える11自治体に、新型コロナウイルス感染症の予防対策支援金を寄付。



その他、啓蒙活動や教育活動、スポーツ活動への協力

- FMラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛。
- 交通安全啓蒙映画等への協賛。
- 財団法人全日本交通安全協会へ、交通安全教育用としてソシアックを寄贈。
- 全国マスコミへの取材協力、各種シンポジウムへの協力。
- 財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。
- JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとして協賛。



※「健康経営優良法人2021」に認定されました。今後も、環境・社会への貢献、社員の健康管理への取り組みを継続してまいります。

22 ESGの取り組み



3 交通事故被害者への援助、啓蒙活動への協賛

(財)交通遺児等育成基金に、会社及び社員の善意金を寄付。同基金へのソシアックの売上収益の一部寄付や、ラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛を継続。



10 啓蒙活動、スポーツ活動への協力

財団法人アジア福祉教育財団への継続的な寄付。JPA日本パラ陸上競技連盟へのオフィシャルパートナーとしての協賛を継続。



3 健康経営への取り組み

従業員の心身の健康を重要な経営課題と捉え、2020年度より健康経営の取組みを実施。
※「健康経営優良法人2021」に認定されました。



9 パートナーシップ構築宣言に参画

「未来を拓くパートナーシップ構築推進会議」における、サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者との連携・共存共栄を進めるという趣旨に賛同し、パートナーシップ構築宣言に参画。



5 ダイバーシティの推進

個々人の多様性と創造性を積極的に活用できるよう、海外現地法人において、現地スタッフの採用や企業全体として女性管理職の登用を推進。



7 ISO14001、9001の認定を取得、活動を継続

ISOへの取組みのため、「電気使用量の確認と節電にむけた対策」「紙類リサイクルの徹底」「営業車のHV化」等の活動を継続実施。



FS 543170 / ISO 9001
EMS 543169 / ISO 14001
本社 国内支社・営業所



6 ボディコーティングの販売による環境負担の軽減

当社開発商品である各種コーティングを販売することにより、洗車回数の削減やカーシャンプー使用頻度の低下による水質保全に繋げる。



14 アルコール検知器のパッケージ紙素材使用

当社開発商品であるアルコール検知器の梱包は全て紙素材を活用し、プラスチックごみによる海洋汚染問題への対策に対応。



12 人と環境に優しい製品開発

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR制度) 等、各種法令に配慮した、人と環境にやさしい製品開発を推進。常に最新の安全データシート (SDS) をHPより提供。



12 コーティング製造工場における廃液排出ゼロの取組み

関連子会社のセントラル自動車工業株式会社における製造過程での廃液排出をゼロにすることにより、周辺環境への影響を無くし、環境汚染等を防ぐ取組みを推進。



企業理念

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

基本方針

- (1) お客様の潜在ニーズを読み、期待を上回る新しい商品・サービスの開発を通じて需要を創造する。**
- (2) 全てのお客様・お取引先様への感謝の念を忘れず、徹底したサービス体制を通じて、信頼とお役に立つ中央を目指す。**
- (3) 役員・社員の能力と生活向上を通じて、社会的責任を果たす開発型企業を目指す。**

24 2021年度の目標

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益	配当予想
2021年度 第2四半期	14,200 (119%)	2,800 (143%)	3,100 (137%)	2,100 (143%)	114円62銭	第2四半期末 32円 期末 32円 合計 64円
2021年度 通期	29,500 (107%)	6,100 (113%)	6,700 (112%)	4,500 (116%)	245円61銭	※配当性向 29.5%(単体)

()内%表示は、2021年度第2四半期が対2020年度第2四半期、2021年度通期が対2020年度通期伸率。

- 配当政策を経営上の重要課題としている当社と致しましては、環境の変化激しい中でも開発型企业として経営の維持・発展に努め、株主の皆様には「安定かつ高配当」を継続して参りたく存じます。
- 2020年度の期末配当金につきましては、当初予想の1株当たり28円から4円増額の32円とし、通期の1株当たりの配当金は前期比4円増配の60円にさせて頂き、また2021年度につきましても、不透明な市場環境下ではありますが、更に4円増配の64円とさせて頂きたいと存じます。

ご清聴、ありがとうございました。